



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
 コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 谷井 剛
 (氏名) 山本 忠幸

TEL 03-3233-1301

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,938	△1.7	178	△29.1	166	△33.9	55	△65.2
23年3月期第3四半期	10,109	△2.5	251	14.9	252	23.9	160	48.4

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 54百万円 (△66.4%) 23年3月期第3四半期 162百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	334.80	—	—
23年3月期第3四半期	963.09	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年3月期第3四半期	5,829		1,723		29.3	
23年3月期	6,345		1,919		30.0	

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,709百万円 23年3月期 1,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	700.00	—	800.00	1,500.00
24年3月期(予想)	—	700.00	—	800.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	14,000	3.2	430	9.9	430	9.8	250	60.8	1,500.00	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 一社 (社名)
、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	166,932 株	23年3月期	166,932 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	一株	23年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	166,932 株	23年3月期3Q	166,932 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 補足事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 繼続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、不透明な環境となっておりますが、当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、引き続きブロードバンド化が進展し、携帯電話については高速データ通信が可能な第三世代電話の普及が進んでおり、スマートフォンの普及も本格化の兆しを見せております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC (Fixed Mobile Convergence) サービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン（スマートひかり）」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックスを中心とするセグメントでは、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が99億38百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益が1億78百万円（前年同四半期比29.1%減）、経常利益が1億66百万円（前年同四半期比33.9%減）、四半期純利益が55百万円（前年同四半期比65.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は75億71百万円（前年同四半期比3.0%減）、セグメント利益は84百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」は、普通印刷・特注文具（ファイル・バインダー等）の製造及び販売等を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は15億83百万円（前年同四半期比9.2%減）、セグメント利益は46百万円（前年同四半期比45.0%減）となりました。

《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は7億83百万円（前年同四半期比39.2%増）、セグメント利益は81百万円（前年同四半期比82.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当連結会計年度における資産の残高は58億29百万円となり、前連結会計年度末比5億16百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少（2億82百万円）及び受取手形及び売掛金の減少（1億61百万円）によるものであります。

(負債)

当連結会計年度における負債の残高は41億6百万円となり、前連結会計年度末比3億20百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少（74百万円）、短期借入金の減少（1億74百万円）及び未払法人税等の減少（71百万円）によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度における少数株主持分の残高は13百万円となりました。また、純資産の残高は17億23百万円となり、前連結会計年度末比1億95百万円の減少となりました。これは主に、当期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月19日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）補足事項

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,722,298	1,440,052
受取手形及び売掛金	2,276,224	2,114,402
商品及び製品	76,789	50,089
仕掛品	45,195	135,638
原材料及び貯蔵品	15,261	16,581
その他	453,623	430,353
貸倒引当金	△26,543	△25,388
流动資産合計	4,562,850	4,161,729
固定資産		
有形固定資産	711,569	727,653
無形固定資産		
のれん	312,455	285,613
その他	179,695	144,288
無形固定資産合計	492,150	429,902
投資その他の資産		
その他	629,770	567,578
貸倒引当金	△55,806	△60,545
投資その他の資産合計	573,963	507,033
固定資産合計	1,777,683	1,664,589
繰延資産		
社債発行費	5,029	3,021
繰延資産合計	5,029	3,021
資産合計	6,345,563	5,829,340
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	1,716,847	1,642,513
1年内償還予定の社債	—	200,000
短期借入金	584,702	409,865
未払金	645,074	655,120
未払法人税等	92,410	21,339
賞与引当金	76,016	27,688
役員賞与引当金	7,500	5,625
その他	172,574	293,968
流动負債合計	3,295,126	3,256,122
固定負債		
社債	500,000	300,000
長期借入金	284,250	237,667
退職給付引当金	113,547	103,699
その他	233,529	208,661
固定負債合計	1,131,326	850,027
負債合計	4,426,452	4,106,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,323,189	1,128,681
株主資本合計	1,907,897	1,713,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,760	△3,510
その他の包括利益累計額合計	△1,760	△3,510
少数株主持分	12,973	13,312
純資産合計	1,919,110	1,723,190
負債純資産合計	6,345,563	5,829,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	10,109,406	9,938,590
売上原価	8,352,142	8,195,313
売上総利益	1,757,263	1,743,277
販売費及び一般管理費	1,505,692	1,564,847
営業利益	251,570	178,430
営業外収益		
受取利息	6,526	4,949
持分法による投資利益	8,121	—
助成金収入	—	4,627
その他	7,306	2,520
営業外収益合計	21,954	12,096
営業外費用		
支払利息	15,770	16,692
持分法による投資損失	—	1,610
その他	5,543	5,610
営業外費用合計	21,314	23,914
経常利益	252,210	166,612
特別利益		
固定資産売却益	—	3,347
投資有価証券売却益	3,297	—
その他	—	660
特別利益合計	3,297	4,007
特別損失		
投資有価証券売却損	43,085	—
固定資産売却損	—	67
減損損失	41,721	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,496	—
事務所移転費用	12,926	—
データセンター移設費用	—	5,688
訴訟関連損失	—	5,714
その他	21,115	14,102
特別損失合計	124,345	25,573
税金等調整前四半期純利益	131,162	145,046
法人税、住民税及び事業税	44,378	62,313
法人税等調整額	△76,996	26,504
法人税等合計	△32,617	88,818
少数株主損益調整前四半期純利益	163,780	56,227
少数株主利益	3,009	338
四半期純利益	160,771	55,889

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	163,780	56,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,437	△1,749
その他の包括利益合計	△1,437	△1,749
四半期包括利益	162,343	54,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,364	54,141
少数株主に係る四半期包括利益	2,978	336

(3) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	7,802,202	1,744,620	562,583	10,109,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,367	13,536	2,890	21,794
計	7,807,569	1,758,156	565,474	10,131,200
セグメント利益	164,995	85,250	44,491	294,737

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	294,737
セグメント間取引消去	5,055
のれんの償却額	△48,222
四半期連結損益計算書の営業利益	251,570

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「IP & Mobileソリューション事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。
なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結会計期間においては41,721千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	7,571,758	1,583,675	783,157	9,938,590
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,457	7,363	5,538	29,360
計	7,588,216	1,591,039	788,695	9,967,951
セグメント利益	84,307	46,864	81,122	212,295

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	212,295
セグメント間取引消去	442
のれんの償却額	△34,307
四半期連結損益計算書の営業利益	178,430

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。